

機関リポジトリ設立時の諸課題 「片手間にやるリポジトリ」

DRF地域ワークショップ(関東地区)DRF-Ookayama
平成21年2月9日 東京工業大学

横浜国立大学図書館・情報部
図書館情報課図書館企画係
久保いくこ

はじめに



1. 学内合意を取り付けよう
2. 予算を獲得しよう
3. 誰が担当する？
4. システムを導入しよう
5. 論文を集めよう
6. 登録しよう

1. 学内合意を取り付けよう



リポジトリは、図書館内の事業ではなく、
全学事業だ。

予算獲得のためにリポジトリ立ち上げ前に合意を取る

or

リポジトリで成果をあげてから承認をとる

トップダウン or ボトムアップ

横浜国立大学の平成18年度の動き



- | | |
|-------|--------------------------------------------------------|
| 4月 | 他大学のリポジトリ運用指針と委員会内規を参考に部長が本学版を試作。 |
| 4月 | サーバ購入の見積とコンテンツ電子化の見積を複数業者に依頼。 |
| 5月11日 | 機関リポジトリ検討ワーキンググループ打合せ。 |
| 5月16日 | 附属図書館運営委員会がリポジトリの構築計画とCSI委託事業への公募を了承。 |
| 5月25日 | 学長決裁をとって、CSI委託事業応募書類を発送。 |
| 7月12日 | 研究担当理事にリポジトリの説明をする。 |
| 7月13日 | 教育研究評議会にて「学術情報リポジトリ運営指針」を決定。学長名で「学術情報リポジトリ運営委員会規則」を制定。 |

リポジトリ構築計画のポイント



「学術情報基盤の今後の在り方について(報告)」

平成18年3月
文部科学省
科学技術・学術審議会
学術分科会
研究環境基盤部会
学術情報基盤作業部会

p.62 各大学は、学協会との連携を図りつつ、
機関リポジトリに積極的に取り組む必要がある。

リポジトリ構築計画のポイント

- リポジトリは大学の成果のショーケースとなる
- 産学連携を促進する
- 登録内容が国立情報学研究所の学術ポータルサイトで検索できる
- オープンアクセスの推進
- 学術雑誌価格高騰への対抗



課題



**毎年アピールを続けないと、
忘れられてしまいそう。**

2. 予算を獲得しよう



予算の使い途

- サーバとソフトウェアの導入と保守
- ソフトウェアのカスタマイズやシステム開発
- コンテンツの電子化
- メタデータの作成
- サーバへのアップロード
- 広報費
- 消耗品

予算の確保



外部資金
学内資金

外部資金といえ

国立情報学研究所 次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業 学術機関リポジトリ構築連携支援事業

The screenshot shows the homepage of the NII Institutional Repositories Program. The main header includes the title '学術機関リポジトリ構築連携支援事業' and 'NII Institutional Repositories Program'. A navigation menu contains links for HOME, ニュース, 事業について, 機関リポジトリ一覧, 委託事業, イベント情報, ドキュメント, and お問い合わせ. The main content area is divided into several sections: 'About Us' with a description of the program and a '詳細はこちら' link; 'Current IRs' with a '機関リポジトリ一覧' section and a '詳細はこちら' link; 'Projects' with a '委託事業' section and a '詳細はこちら' link; 'Contact' with an 'お問い合わせ' section and a '詳細はこちら' link; 'Events' with an 'イベント情報' section and a '詳細はこちら' link; 'News' with a list of recent news items and a '一覧はこちら' link; and 'Document' with a 'ドキュメント' section and a list of document types.

リンク集 | English

学術機関リポジトリ構築連携支援事業
NII Institutional Repositories Program

HOME | ニュース | 事業について | 機関リポジトリ一覧 | 委託事業 | イベント情報 | ドキュメント | お問い合わせ

About Us
事業について [詳細はこちら](#)

機関リポジトリとは、大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービスです。
国立情報学研究所では、これまでのコンテンツ関連事業の成果を継承、拡充させ、次世代学術コンテンツ基盤の整備に資するために、各大学における機関リポジトリの構築とその連携を支援しています。

News
ニュース [一覧はこちら](#)

- 2009/01/28
CiNiiでのIRデータ更新一時停止について (2/16-3/8)
- 2009/01/23
翻訳資料を公開しました
- 2009/01/22
翻訳資料を公開しました
- 2009/01/14
平成20年度業務完了報告書記入要領を修正しました

Document
ドキュメント

- 基本文献
- 翻訳資料
- コンテンツ提供
- システム情報
- 広報資料
- 調査・報告資料
- 委託事業各種様式

学内資金といえ

- 図書館運営費

ガス代と電気代の
値上げが直撃

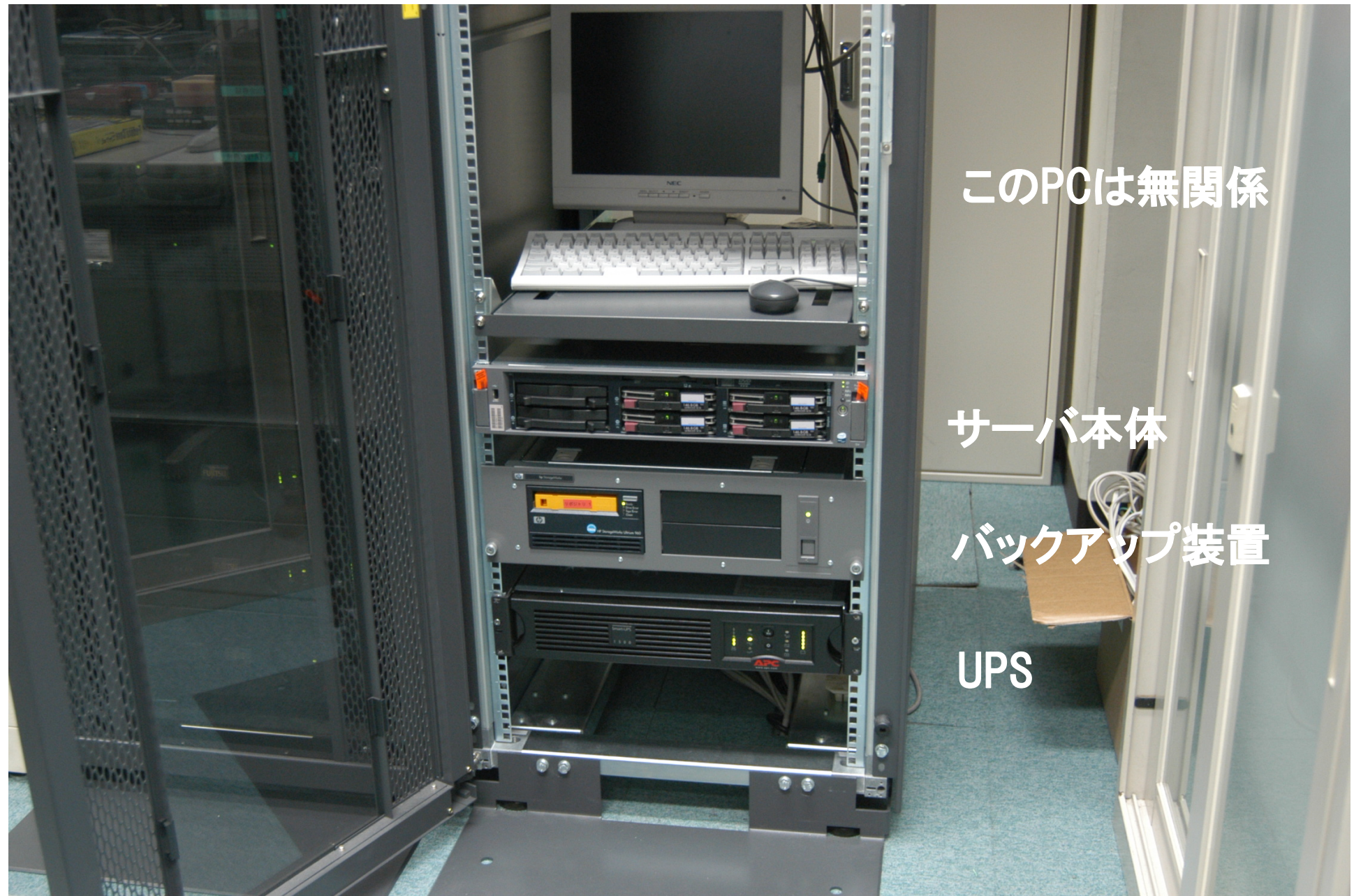
建物の維持に
お金がかかる

- 図書館資料費

図書と雑誌の費用

- 学内の競争的資金

← これが欲しい。



このPCは無関係

サーバ本体

バックアップ装置

UPS

ハードウェア

課題



**リポジトリ費を
運営費に組み込まれた
安定した予算にしたい。**

参考

「予算獲得もまた楽しい」 茂出木理子氏

お茶の水女子大学 教育・研究成果コレクション
TeaPot
Ochanomizu University Web Library - Institutional Repository

お茶の水女子大学
Ochanomizu University

お茶の水女子大学 | 附属図書館 | TeaPot

TeaPotメニュー

- ホーム
- ブラウズ
 - 主題別
 - タイトル
 - 著者
 - 資料種別
 - 日付
- ダウンロード数
 - Top10(月)
 - Top10(週)
 - DSpaceについて

TeaPotについて知りたい方はこちらへ [Click!](#)



TeaPot - Ochanomizu University Web Library Institutional Repository >
0 総記 General >
01 図書館. 図書館学 Libraries, Library & information science >

このアイテムのファイル:

ファイル	記述	サイズ	フォーマット
20081023chushikoku.modeki.pdf		41.82 kB	Adobe PDF View!

タイトル: 大学図書館の可能性:お茶大図書館「ラリルレロ」の展開 (第49回中国四国地区大学図書館研究集会における基調講演講演要旨)

著者: 茂出木, 理子

著者(別表記): もでき, リコ
Modeki, Riko

NCID: AN00136065

雑誌名: 中国四国地区大学図書館協議会誌

発行日: 2009-01-21T04:14:56Z

抄録: 第49回中国四国地区大学図書館研究集会(平成20年10月23日~10月24日、会場:山口市KKRあさくら)において、行った基調講演「大学図書館の可能性」の講演要旨。

資料種別: Conference Paper

出現コレクション: 01 図書館. 図書館学 Libraries, Library & information science

このアイテムの引用には次の識別子を使用してください: <http://hdl.handle.net/10083/32945>

3. 誰が担当する？



- a. リポジトリ専用係を置く
- b. どこかの係が兼任する
- c. 全館体制、ワーキンググループ

b. どこかの係が兼任する



- システム管理担当
- 雑誌担当
- ILL担当
- 電子化担当
- 総務担当

どこで学ぶ？

- 学術ポータル担当者研修
- DRF（メーリングリストやワークショップ）
- 学術機関リポジトリ構築連携支援事業

学術ポータル担当者研修

カリキュラムおよび講義資料

平成20年度

【留意事項】

- 掲載資料を参照・利用する場合には、作成者に連絡の上で著作権表示を明記すほか、著作権には充分配慮してください。

名	日	時間	内容	講師等	
7/23 (水)	8/27 (水)	1日目			
		9:30-9:45	開講式		
		9:45-10:45	『学術情報連携における機関リポジトリ』	三穂信二(名古屋大学 附属図書館 研究開発室 助勤)	
		11:00-12:15	機関リポジトリと研究インパクト	板内新(北海道大学 大学院理学研究院 准教授)	
		13:30-14:15	機関リポジトリの導入戦略	[名古屋]尾崎文化代(名古屋大学 学術室 図書館情報企画グループ 企画(企画調整(学術情報)ポジトリ担当))	
		14:15-15:00	機関リポジトリのコンテンツ形成	[東京]上田大輔(広島大学 学術室 図書館情報企画グループ 企画(学術情報)ポジトリ担当)	
		15:15-16:00	国立情報学研究所の機関リポジトリ支援戦略	鈴木雅子(小樽医科大学 附属図書館 学術情報課 情報普及係長)	
		16:15-17:30	グループ討議	[名古屋]原田雄介(国立情報学研究所 学術推進推進部 学術コンテンツ課 図書館連携チーム)	
		17:30-18:30	グループ討議	[東京]村田 づみ(国立情報学研究所 学術推進推進部 学術コンテンツ課 図書館連携チーム 係長)	
		2日目			
9:30-10:30	機関リポジトリシステム概論	山地一誠(国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 准教授)			

Digital Repository Federation
<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?Digital%20Repository%20Federation>

[Front page] [Edit] [Freeze] [Diff] [Backup] [Upload] [Reload] [New] [List of pages] [Search] [Recent changes] [Help]

お知らせ

- DRF-Ookayamaの開催
2月9日(月)10日(火)の両日にかけて、東京工業大学大岡山キャンパスにおいてDRF関東地区ワークショップを開催します。テーマは、「機関リポジトリは図書館を変える！大岡山でリポジトリを語る」です。内容は、機関リポジトリを導入予定や導入しつつある機関の方やCSJ事業の重点コンテンツである学位論文の登録に関心のある方、さらにDRFが進めつつある国際連携などに関心のある方などを対象としたものになっています。プログラム及び申し込み方法は下記をご覧ください。
- DRF-Ookayama DRF関東地区ワークショップ
- 横浜合意と学位論文メタデータ標準案の公開
横浜図書館合意でのDRF4における協議を横浜合意としてまとめました。また、4つのセッションのうち、「学位論文ネットワークの形成を目指して—メタデータとデジタル化」で提案された学位論文のメタデータ標準案(提案)を公開しました。
- DRF4 (4) 横浜合意及び学位論文メタデータ標準案
- 学位論文メタデータ標準案については、パブリックコメント(意見公募)を求めた上で、2月9日10日開催のDRF-Ookayama(DRF-大岡山、東工大ワークショップ)で、フォローアップを行います。横浜合意での説明及び標準案をご覧になって意見(パブリックコメント)がある場合は、DRF企画委員会(drf-liaison@lib.hokudai.ac.jp)までご連絡下さい。質問も同メールで受け付けます。
- DRIVERプロジェクトとの見え書き調整
平成20年11月25日、取組DRIVERプロジェクトとDRFとの間で協力関係に関する見え書きを交わしました。(→[こちら](#)と[読む](#))

Digital Repository Federation

課題



**担当者が異動したら、
どのように
引き継いでいくか。**

4. システムを導入しよう



大学で自前のリポジトリを導入する

or

地域リポジトリに参加する

導入するならどのシステムにするか



DSpace

オープンソース

EPrints

オープンソース

XooNips ズーニプス

国産オープンソース

E-repository

商業製品

Infolib-DBR

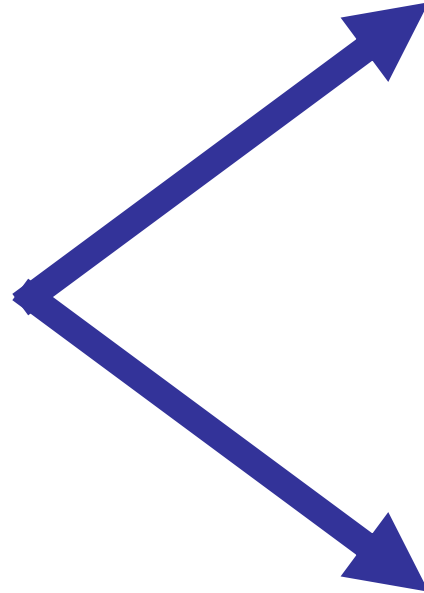
商業製品

オープンソースならどうするか

図書館員は
プログラムが

分かる

分からない



プログラムが分からない



導入支援業者に
インストールしてもらおう

or

パッケージ化して
売っている業者から買う

プログラムが分からない



カスタマイズも
業者に頼む

or

システム更新を考慮して
カスタマイズは極力しない

プログラムが分からない




- 必要だから学ぶ

- (例) 研修

- 「持続可能な機関リポジリのための人材進化構造」

- Webの概念
 - HTML
 - PHP言語
 - データベース設計
 - ビューとコントロールの概念
 - CakePHPの概念

プログラマー図書館員がいる



- 自力でインストールできる
- どんどんカスタマイズできる

図書館業務システムとセットで調達



- iLisSurf e-Lib（富士通製）
 - （導入例）同志社大学と関東学院大学
 - （参考）原健治（同志社大学総合情報センター）「同志社大学学術リポジトリについて」、第4回DRFワークショップ「日本の機関リポジトリとそのテーマ2008」、2008.11。 <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?DRF4>
- NALIS-R（NTTデータ九州製）
 - Dspaceに独自カスタマイズを加えたもの

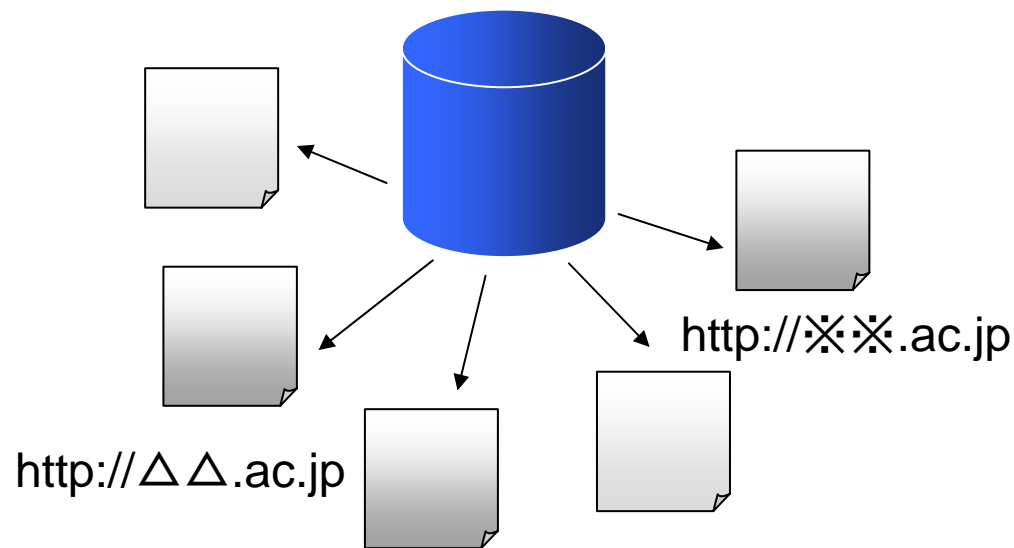


バックアップを取っています。

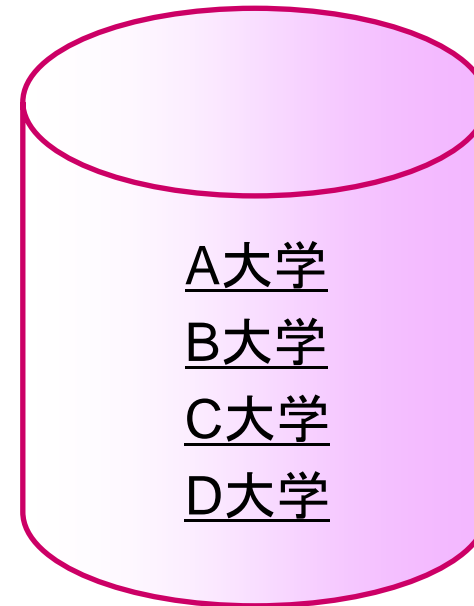
地域リポジトリに参加するなら

SHERPA-LEAP型

白ばらリポジトリ型



各大学ごとに独自のURLを持てる



同居する大学はみな同じURL

課題



**5～6年経ったら
システム更新するのか？**

5. 論文を集めよう



- A. 学術雑誌論文
- B. 紀要論文
- C. 学位論文
- D. 大学の特色あるコレクション
- E. 図書館が所蔵する貴重書
- F. Open Course Ware

A. 学術雑誌論文



- Serials Crisis
 - 学術雑誌の価格高騰
- Self-Archiving
 - 1991年 E-print archive → 2001年 arXiv.org
 - 2000年 PubMed Central運営開始
- Open Access
 - 1998年 ARLがSPARCを開始
 - 2001年 Budapest Open Access Initiative宣言

(参考) 倉田敬子『学術情報流通とオープンアクセス』勁草書房、2007.8。

5. 論文を集めよう



- A. 学術雑誌論文
- B. 紀要論文
- C. 学位論文
- D. 大学の特色あるコレクション
- E. 図書館が所蔵する貴重書
- F. Open Course Ware

著作權



- 複製權（著作權法第21條）
- 公眾送信權（同第23條）

主な出版社の著作権ポリシー



- 著者最終原稿はOK、出版社版はダメ
 - Elsevier
 - Springer
- 出版社版がOK
 - IEEE
 - AIP
 - APS
 - 日本機械学会

著作権ポリシーを調べる



SHERPA
RoMEO

... opening access to research
[Home](#) | [Guidance](#) | [Repositories](#) | [Projects](#) | [Links](#) | [About](#) | [Contacts](#)

Publisher copyright policies & self-archiving

Use this site to find a summary of permissions that are normally given as part of each publisher's copyright transfer agreement.

Search

Search **Journal titles** **Publisher names**

for

find **contains** or **starts with** or **Exact phrase only** **ISSN**

RoMEO News

- [Latest Updates to RoMEO](#)
- JULIET: [Selected research funders' grant expenditure](#)
- **Publishers Allowing use of their PDFs in Repositories**
 - [Press Release](#) - 27-Aug-2008
 - [List of Publishers](#)
- **Publishers with Paid Options for Open Access**
 - [Press Release](#) - 03-Sept-2008
 - [List of Publishers](#)

Recently Added Publishers

 [RSS1 Feed](#)

- [Excogitation & Innovation Laboratory](#) - 04-Feb-2009
- [e-Century Publishing](#) - 02-Feb-2009
- [Clay Minerals Society](#) - 30-Jan-2009
- [Centre for Education in the Built Environment, Higher Education Authority](#) - 28-Jan-2009
- [Turner White Communications](#) - 27-Jan-2009

Browse

- [All publishers](#)
- [Green publishers](#)
- [Blue publishers](#)
- [Yellow publishers](#)
- [White publishers](#)

[What the colours mean.](#)

Special RoMEO Pages

- [Publishers Allowing use of their PDFs in Repositories](#)
- [Publishers with Paid Options for Open Access](#)
- [Selected research funders' grant expenditure](#)
- [RoMEO Statistics](#): Proportion of RoMEO colours for listed publishers. Growth of the database.
- [Prototype API](#) documentation. This is available for m2m access: for example to be integrated into a repository's deposit process.
- [List of sites using RoMEO data.](#)
- [Conditions for Re-use](#). RoMEO information is available for use by third-parties under and a Creative Commons licence.

著作権ポリシーを調べる

SCPJ
Society Copyright Policies in Japan 学協会著作権ポリシーデータベース English

学協会の著作権ポリシーを調べる 学協会著作権ポリシー一覧

学協会名から検索
(学協会名の一部から検索できます。and,or検索はできません) [検索結果の見方](#)

雑誌名から検索
(雑誌名、ISSN/ハイフン(は除く)、ヨミの一部から検索できます。and,or検索はできません)

関連リンク

- [NII-ELSコンテンツの機関リポジトリへの提供許諾条件一覧](#)
…Cinii (NII論文情報ナビゲータ)で無料一般公開をしている学協会誌について、各学協会に対して学術機関リポジトリへの本文コンテンツ複製収録の可否を確認しました。このページは、収録の可否および条件ごとに、各学協会の意向をまとめたものです。
- [SHERPA/RoMEO - Publisher copyright policies & self-archiving](#)
…英国SHERPA Projectが運営。洋の出版社の著作権ポリシーを集めている。
- [Journal Policies - Self-Archiving Policy By Journal](#)
…Southampton Universityが運営。雑誌名から著作権ポリシーを検索できる。元のデータはSHERPA/RoMEOを使用している。
- [国立情報学研究所 学協会情報発信サービス](#)
…国立情報学研究所が運営。国内の学協会の情報を検索することができる。
[日本学術会議 日本学術会議協力学術研究団体一覧](#)

登録データ数 1,817件
うちGreen41件、Blue219件

SHERPA/RoMEO 検索

SHERPA RoMEO

Journal titles
 Publisher names

Any or All keywords or
 Exact phrase only

SCPJについて

日本国内の学協会の機関リポジトリに対する論文掲載許諾状況が調べられます。

[>詳しい情報](#)

著作権ポリシーとは

広報活動



- 説明会を開催する
- 教授会で5～10分くらい宣伝させてもらう
- 研究室を訪問する
- チラシ配布
- グッズ配布
- 学内広報誌に記事を投稿する



全学説明会 2006年10月27日

A. 学術雑誌論文の集め方

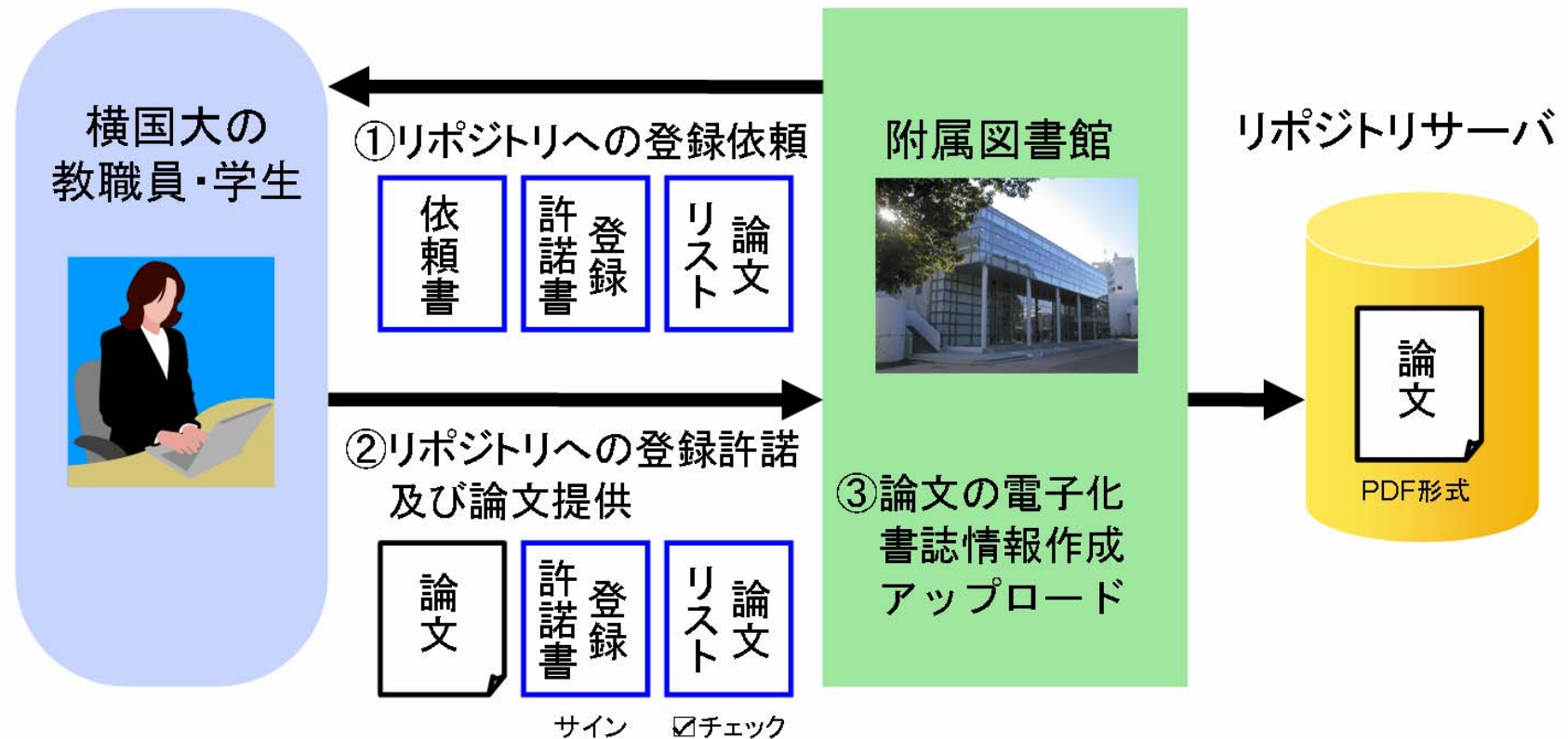


◆ 狙い撃ち型

◆ 待ち受け型

◆ 義務化型

◆狙い撃ち型



◆待ち受け型



チラシを配布

学内広報誌に投稿

図書館だより



リポジトリに論文を登録しましょう!

近頃「探していたあの論文がインターネットで読めた」ということが増えていませんか? 電子ジャーナルが便利なのはもちろんですが、もしかしたら、急速に普及しつつあるリポジトリも役立っているかもしれません。

大学などの学術機関が、研究成果などをインターネットで公開するのがリポジトリです。「横浜国立大学学術情報リポジトリ」では、本学に所属する研究者による学術雑誌論文や、博士論文、研究紀要論文、そして本学の特色ある資料などを発信しています。

学術雑誌に投稿した論文をリポジトリに登録する場合は、論文を電子メールまたは学内便で図書館企画係までお送りください。著作権の状況によってはリポジトリでの論文公開が制約される場合がありますので、図書館にて調査いたします。例えば、エルゼビア社やシュプリンガー社が出版する論文は、抜刷は使えませんが、査読後の著者最終原稿をリポジトリに載せることができます。一方、IEEE や日本機械学会のように、抜刷をスキャンしてリポジトリに載せることを認めている出版元もあります。そのあと図書館から「登録承諾書」の用紙をお送りしますので、ご署名の上ご返送ください。論文をPDF形式に変換してセキュリティ設定を加えたり、書誌情報と併せてアップロードしたりする作業は図書館にて行います。

お問合せはお気軽に図書館企画係（内線 3204）まで。

◆義務化型



(例)

北陸先端科学技術大学院大学

Japan Advanced Institute of Science and Technology

「JAISTリポジトリ充実計画」



- ・ [参加機関一覧](#)
- ・ [機関リポジトリの設立・運営に関する公開メーリングリスト](#)
- ・ [DRFについて](#)
- ・ [DRF in English](#)
- ・ [国際会議シリーズ](#)
 - [DRFIC2008](#)
- ・ [ワークショップシリーズ](#)
 - [DRF1](#)
 - [DRF2](#)
 - [DRF3](#)
 - [DRF4](#)
- ・ [地域ワークショップシリーズ](#)
 - [DRF-Okayama](#)
 - [DRF-Kanazawa](#)
 - [DRF-Sapporo](#)
 - [DRF/ShaRe-Hiroshima](#)
 - [DRF/ShaRe-Yamagata](#)
 - [DRF-Senri](#)
 - [DRF-Ookayama](#)

- ・ [IR設立・運営に関する参考文献](#)
- ・ [実務のための関連資料](#)
- ・ [海外文献\(和訳\)](#)
- ・ [用語集](#)
- ・ [トピック](#)
- ・ [イベント開催情報](#)
- ・ [機関リポジトリに関する国内のメディア報道一覧](#)
- ・ [関連技術](#)
- ・ [活動報告等](#)
- ・ [システム・ツール](#)

第4回DRFワークショップ「日本の機関リポジトリとそのテーマ2008」[†]

[English](#)

日時:平成20年11月27日(木)10:30-17:00
 会場:パシフィコ横浜 第10回図書館総合展 フォーラム第10会場
 主催:DRFデジタルリポジトリ連合
 共催:国公立大学図書館協力委員会

・ 開催案内チラシ

[DRF4adv.pdf](#)

・ アクセス

パシフィコ横浜

- <http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html>

・ アンケート集計結果

[drf4enq.pdf](#)

プログラム[†]

(1) 事例発表 -いくつかの進行中のリポジトリ[†]

- ・ コーディネータ:小山 憲司(三重大学人文学部准教授)

10:30-10:40 開会挨拶 [[動画](#) (mpeg)]

10:40-11:00 事例報告 北陸先端科学技術大学院大学 寺田 美樹 [[動画1](#), [動画2](#), [動画3](#) (mpeg)]

[1-1jaist.pdf](#)

11:00-11:20 事例報告 大阪教育大学 谷口 慶子 [[動画1](#), [動画2](#), [動画3](#) (mpeg)]

[1-2daikyo.pdf](#)

11:20-11:40 事例報告 同志社大学総合情報センター 原 健治 [[動画1](#), [動画2](#), [動画3](#) (mpeg)]

[1-3doshisha.pdf](#)

B. 紀要論文の集め方



- 遡及分

NII電子化紀要を入手

- カレント分

印刷屋PDFを入手

NII電子化紀要の入手

The screenshot shows the website interface for the 'Academic Journal Open Support Project'. At the top, the title '学術雑誌公開支援事業' is displayed with the subtitle 'Support of science magazine opening to the public'. A search bar with a '検索' button is located on the right. Below the title is a navigation menu with tabs for 'HOME', 'ニュース', '事業について', 'ドキュメント', and 'お問い合わせ'. The current page is '事業について', with a breadcrumb trail: 'HOME > 事業について > 研究紀要のコンテンツ提供'. A left sidebar contains a menu with '研究紀要のコンテンツ提供' selected. The main content area is titled '研究紀要のコンテンツ提供' and contains the following text:

国立情報学研究所で電子化、公開したコンテンツを大学等の情報発信を支援する一環として各大学等に提供しています。

これは、[国立情報学研究所における大学等の研究紀要の情報の受入れ等に関する要領](#) (PDF) 第8項に基づいたものです。

※対象となるコンテンツは、各大学等にて著作権処理を完了して学術コンテンツ登録システムへの登録申請を済ませている研究紀要となりますので、ご注意ください。

まずは希望する研究紀要の【NCID】と【巻号】をCiNiiで確認して、「お問い合わせ先」へご連絡ください。手順、及び対象となるコンテンツを相互に確認した後に本研究所より送付する「学術コンテンツの提供依頼書」(公印が必要です)を提出していただけます。その際、データを取めるための媒体を添えていただくこととなります。

依頼書の受領後、本研究所にて媒体へのデータ収集作業を行いますので、数週間からひと月お待ちください。作業が完了しましたら、回答文書と共にコンテンツ入りの媒体を送付いたします。

※書誌(記事)データのみを希望する場合は、学術コンテンツ登録システムの「[データ出力](#)」機能をご利用ください。

・[NIIが電子化した紀要の提供手続き\(概略図\)](#) (PDF)

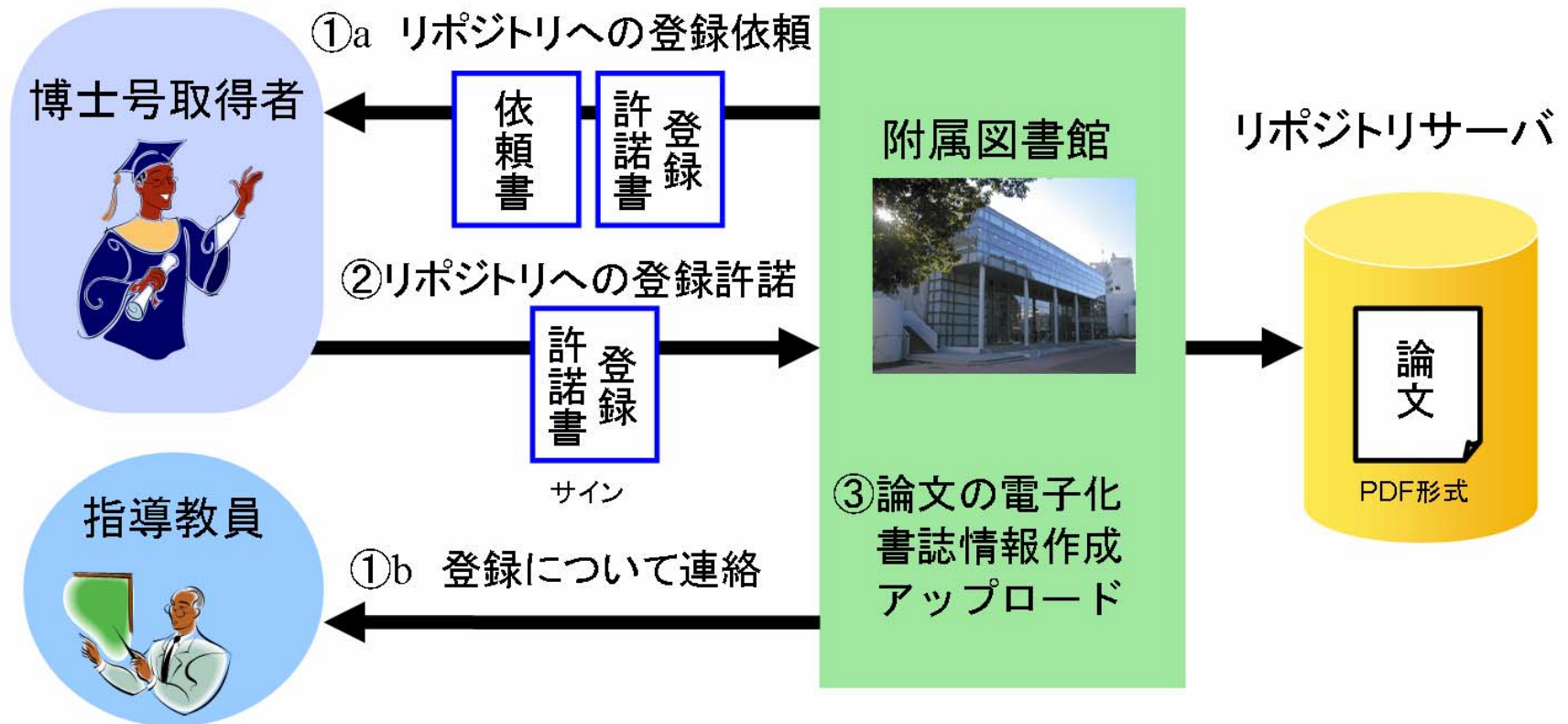
<http://www.nii.ac.jp/nels/about/contents.html>

C. 博士論文の集め方



- 修了生に郵便で
依頼文を送る
- 大学院生に学務窓口で
リポジトリ許諾書を
配布してもらう

修了生に郵便で依頼文を送る



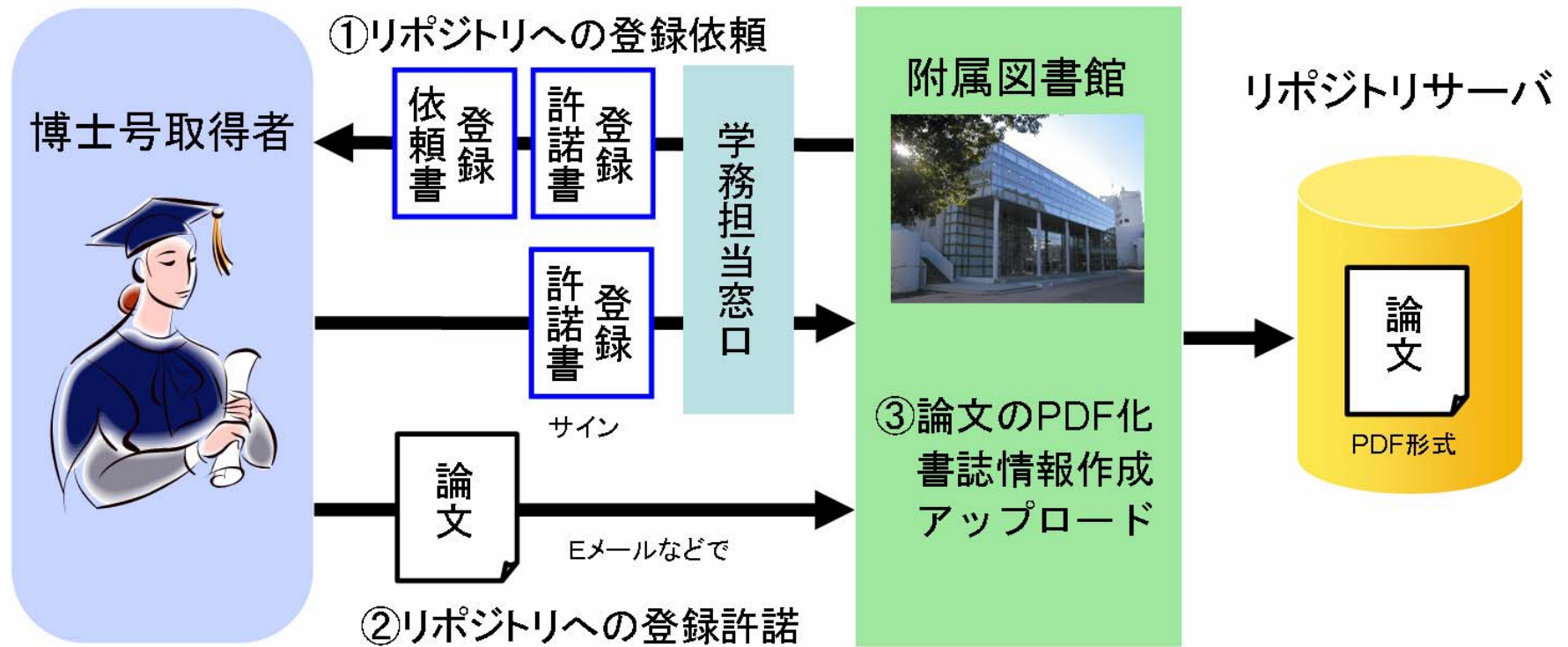
郵便作戦の結果

- 平成17年度と、18年度(6・9月)の修了生が対象。
- 各学務窓口に修了時の住所を問い合わせた。
- 依頼文発送は平成18年11月。

依頼送付	許諾数	登録用に提供を受けた
137件	74件	冊子 5冊 電子 9件

平成18年12月5日まとめ

学務窓口で許諾書を配布



大学の特色あるコレクションの集め方



(例) 宮脇コレクション

宮脇昭名誉教授を中心とする横浜国立大学の植生学研究成果。植生調査報告書など。

- 館長による発案
- 後継の先生を訪問
- 大量の植生調査報告書を受領
- 宮脇先生の講演を許諾書持参で聴講

課題



**紙の許諾書を
書いてもらう必要は
あるのか？**

6. 登録しよう



誰が登録作業を行うか

図書館職員がアップロード作業を行う

or

教員によるセルフアーカイブ

PDF作成



- 最近のものは電子ファイルで入手できることが多い
- 紙からスキャンしたときは、OCRでテキスト化。
- セキュリティを設定。

テキスト化

Vegetation und Vegetationskarten auf den Japanischen Inseln*

von

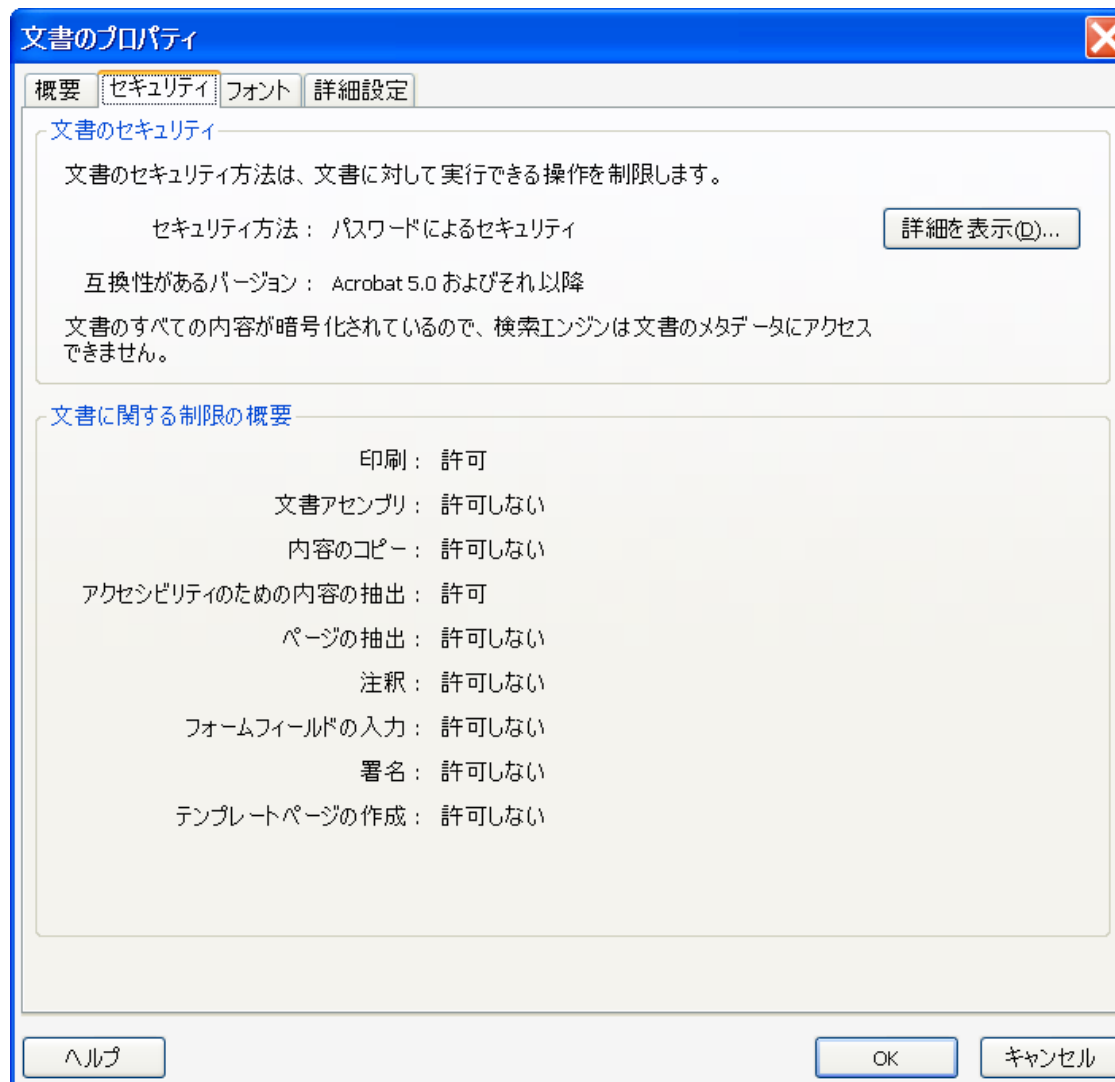
Akira MIYAWAKI

Dep. Vegetation Science Inst. Environmental Sci. and Technol.
Yokohama National University

I. Grundlagen der Vegetationsgliederung auf pflanzensoziologischer Grundlage

Die Vegetation, die als dünne grüne Hülle auf der Erde wächst, ist die Grundlage für das Dasein aller übrigen Lebewesen (Tiere und Menschen). Früher wurde die Forschung über die Vegetation als spezieller Fachbereich der Biowissenschaften betrieben. Aber der rasche Zuwachs der Erdbevölkerung sowie die Entwicklung der modernen Wirtschaft und die schnelle und großräumige Industrialisierung in den Städten und ihrer Umgebung auf Kosten eines lange erhaltenen natürlichen oder naturnahen Zustandes der Landschaft zwingt heute, für das sichere weitere Überleben der Menschheit unter dem unaufhaltsamen Druck auf die Umwelt im Hinblick auf die begrenzten Möglichkeiten sowie auf die

セキュリティを設定



メタデータ作成とアップロード



- 1件ずつ登録

(DSpaceの機能)

- 複数論文を一括登録

(カスタマイズした機能)



記述

記述

記述

アップロード

確認

ライセンス

完了

投稿: アイテムの記述

投稿アイテムに関する情報を以下に入力してください。ほとんどの入力ボックスとボタンのカーソルの移動は、「タブ」キーでできます。

著者名を入力してください。

姓
たとえば、**Yamada**

名
たとえば、**Taro**+ ミドルネームや"Jr" は名の後に続く

Authors

追加

タイトルを入力してください。

Title

出版日または公開日を入力して下さい。「月」「日」がわからない場合は空欄にしておいて下さい。

Date of Issue

月: (指定なし) ▼ 日: 年:

出版社名を入力して下さい。

Publisher

基本の引用(雑誌名、本のタイトル、巻号、ページ、出版場所等)を入力して下さい。

Citation

シリーズ名と番号がある場合は入力して下さい。

シリーズ名 レポート番号/報告書番号

Series/Report No.

追加

一括登録のアップロード

- 少しだけLinuxコマンドが必要

```
[root@tori ~]su dspace
[dspace@tori /root]cd
[dspace@tori ~]. ~/.bash_profile
[dspace@tori ~]cd /usr/local/dspace/work
[dspace@tori /usr/local/dspace/work]sh import.sh /usr/local/dspace/work/input/ /usr/local/
dspace/work/output/ /usr/local/dspace/work/image/ 3 libkikaku@lib.ynu.ac.jp 10131
```

課題

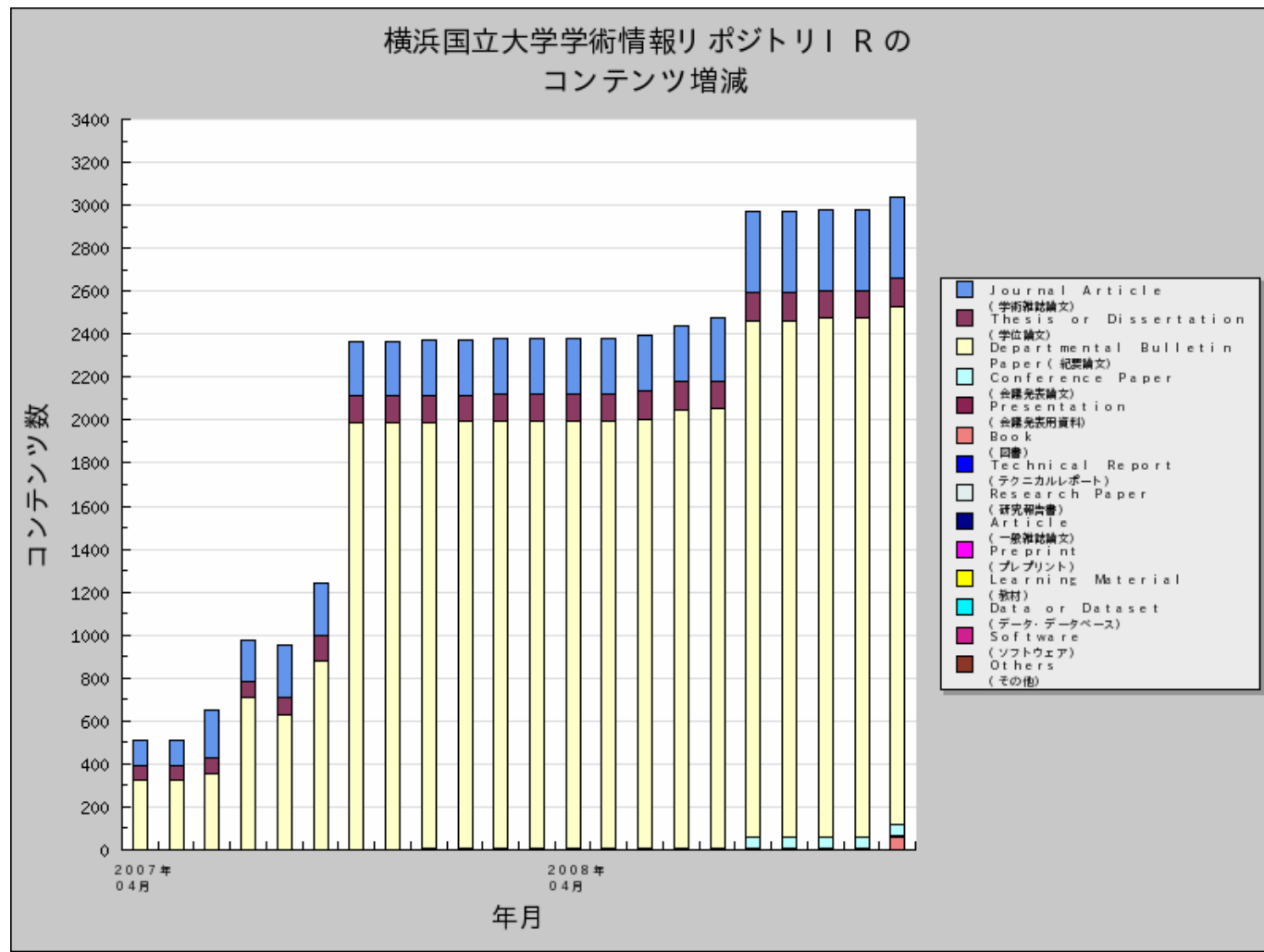


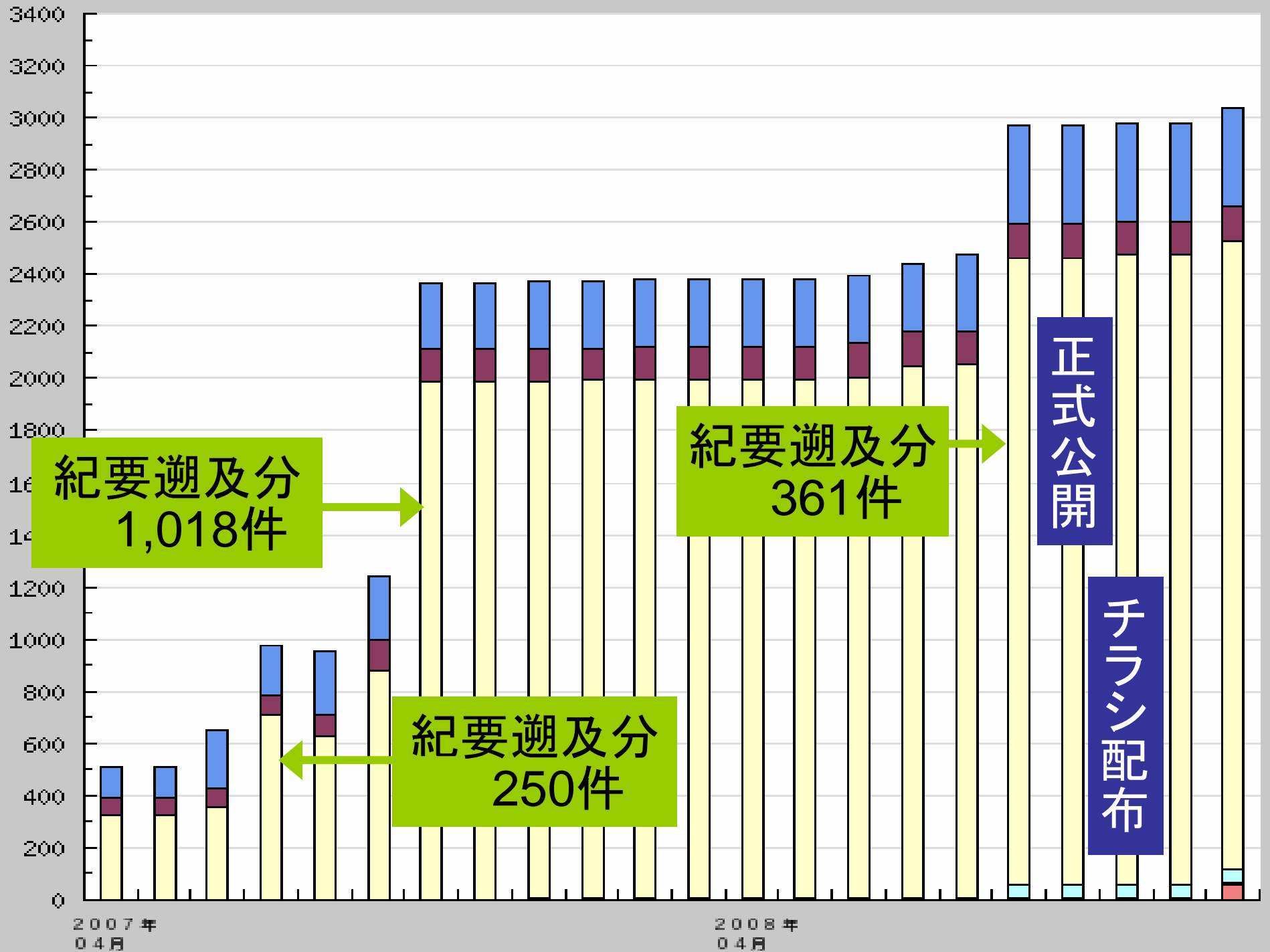
**論文の提供があったら
すぐ登録できるようにしたい。**

横国大リポジトリの片手間ぶり

IRDBコンテンツ分析

NIJ Institutional Repositories DataBase Contents Analysis





紀要遡及分
1,018件

紀要遡及分
361件

紀要遡及分
250件

正式公開

チラシ配布

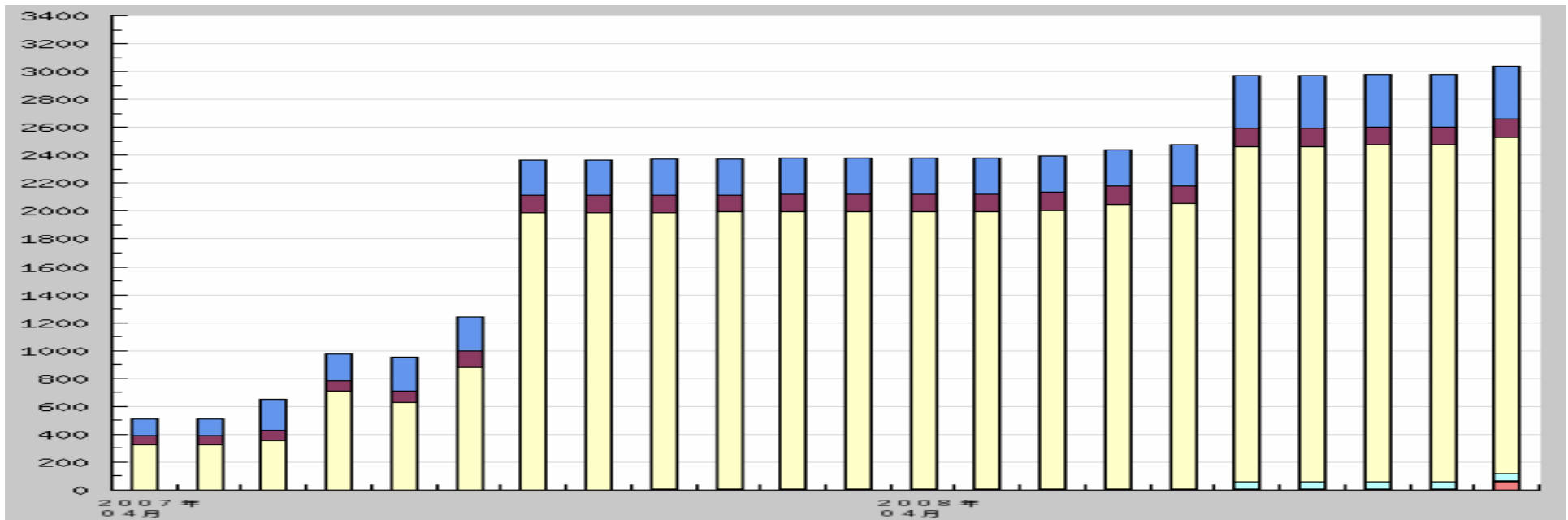
2007年
04月

2008年
04月

横国大 図書館企画系の業務



- 総務
 - 会計管理(図書館運営費のみ)
 - 物品管理
 - 建物管理
- 旧システム管理系の業務の一部
 - 業務用端末、OPAC端末の管理
 - 館内ファイルサーバ等の管理
- リポジトリ



- 雨漏り
- 端末修理
- 雨漏り
- 雨漏り
- 異臭
- 入館ゲート仕様書
- 端末修理
- 異臭
- 雨漏り
- 書庫再工事
- 入館ゲートトラブル
- 異臭
- CD-ROMサーバ故障
- トイレよく詰まる
- 貴重書整理
- 書庫工事
- 屋上工事
- ゲート工事
- 書庫浸水

突発的な事件が多い